

第 1 2 8 回 創 立 記 念 式 典

令 和 6 年 5 月 1 日

明治 29 年、本校の前身である兵庫県神戸尋常中学校が生田川河畔に開校し、今日 5 月 1 日で 128 年を迎えました。

神戸尋常中学校は、兵庫県神戸中学校、県立神戸中学校、県立第一神戸中学校と改称され、戦後の学制改革により県立第一神戸高等学校に改編されました。一方、明治 34 年、現兵庫県庁の地に兵庫県高等女学校が開校し、県立高等女学校、県立神戸高等女学校、県立第一神戸高等女学校と改称され、戦後には県立第一神戸女子高等学校、県立神戸欽松高等学校と改編され、両校が合併し昭和 23 年 9 月に県立神戸高等学校が誕生しました。このように、学校の変遷を記載するだけで長い歴史を感じます。式典の式辞では、「伝統を継承するとは、単に昔の形を続けていくことではなく、その根幹にある意味、本質を受け継いでいくこと」と話をしました。

式典の後に行われた記念講演では、本校 30 回生で気象キャスターの森 朗 さんに「天気が転機～物理がダメでも気象予報士になれた～」と題してご講演いただきました。後輩達へは、正解がない世界で大切なことは失敗しても行動することとメッセージをいただきました。テレビで拝見するのと同じように、とても気さくな方でした。



今回で校長として 3 回目の創立記念日です。式典で神戸一中、県一高女、神戸高校の校歌を聞かたびに、本校の気高い重厚さを感じます。

